

【 6 . 歴史・文化景観拠点】 建築物・景観形成説明書

項 目	景観形成基準	配慮事項（配慮事項を記載して下さい）	照合	現況の把握・分析 と 計画での具体的な配慮事項	照合
配 置	隣接する建築物の道路側の壁面の位置を揃えるなど、周辺の街並みに配慮した配置とする。				
	敷地内やその周辺に歴史的・文化的な資源（祭りの場など）や残すべき自然などがある場合は、これらを生かした配置とする。				
	大規模な敷地に建築物を建てる場合、ゆとりある空間を活かし、敷地の一部の公開や敷地境界線から建築物の壁面の位置を後退することにより、歩行者空間の拡充を図る。				
	隣地間隔や隣棟間隔を十分確保し、庭園からの眺望の開放感を阻害しないようにする。				
高 さ 規 模	周辺の主要な眺望点（まちかどや辻、河川、公園など）からの見え方に配慮する。				
	周辺建築物群のスカイラインとの調和を図り、著しく突出した高さの建築物は避ける。				
	既存の街並みの連続性に配慮して、建物の間口の長さに配慮する。				
	庭園内部の主要な眺望点からの見え方をシミュレーションし、庭園からの眺望を阻害する高さや規模とならないように配慮する。				
	庭園外周部と隣接している敷地については、庭園外周部の樹木の高さを著しく超えることのないよう計画する。				

項目	景観形成基準	配慮事項（配慮事項を記載して下さい）	照合	現況の把握・分析 と 計画での具体的な配慮事項	照合
形態 意匠	建築物全体及び隣接する建築物等との形態のバランスを検討し、特に庭園景観の背景にふさわしい落ち着いた形態・意匠とする。				
	長大な壁面を生じさせないようにし、壁面を分割するなど、庭園からの眺望に対して、圧迫感を感じさせないようにする。				
	建築物に附帯する屋外設備等（屋外機や排気塔等）は、建築物と一体的に計画するなど、庭園内部から見えないう配慮する。				
	建築物に附帯する屋外階段やバルコニーは、建築物と一体的に計画するなど、庭園内部からの見え方に配慮する。				
	駐車場や駐輪場は、出来るだけ見えない位置に配置する。やむを得ず、通りに面する場合などは、植栽や目隠しなどによって、目立たせないようにする。				
	窓面の内側から広告物等を庭園に向けて表示しない。				
	屋根は突出した形状を避け、庭園外周部の樹木のスカイラインと調和したものにす。				
色彩 素材	外壁等の色彩や素材は、色彩基準に適合するとともに、隣接する建築物や周辺景観との調和を図る。				
	建築物の外装材は、反射素材などの庭園からの眺望を阻害する素材の使用は避ける。				

項目	景観形成基準	配慮事項(配慮事項を記載して下さい)	照合	現況の把握・分析 と 計画での具体的な配慮事項	照合
公 開 地 外 構	外構計画は、敷地内のデザインのみを捉えるのではなく、隣接する敷地や道路など、周辺の街並みとの調和を図った色調や素材とする。				
	対象行為により、庭園内の重要な樹木等に悪影響を及ぼさないようにする。				
	隣接するオープンスペースとの連続性を確保する。				
緑 化	敷地内はできる限り緑化を図り、周辺の緑と連続させることで、緑の厚みと広がりを持たせる。また、屋上や壁面の緑化を積極的に推進する。				
	緑化にあたっては、庭園樹種と同一性のある樹種を選定する。				
	庭園外周部と隣接している敷地においては、庭園外周部の樹木の高さを著しく超えることのないよう計画する。				
照 明	夜間の景観を落ち着きのあるものとするため、過度な照明を庭園側に向けないよう配慮する。				